

(1) ION GNSS+ 2023

<https://www.ion.org/gnss/index.cfm>



- “BeiDou次世代”と題した特別セッションあり。” Communication and Navigation Integration” など興味深い。
- 5G/PNT関連では
OneWeb/PNTサービス構想
ESA/UAVを用いた5G測位実験報告
- PPP関連ではガリレオHAS、QZSS/CLASの運用実績報告などあり

事務連絡：関連情報

(2) QBIC修了式 (9/21)

- 日時：令和5年9月21日(木曜日) 開場 15:30、16:00～17:00
- 会場：機械振興会館 (B3-2 会議室)、およびビデオ会議
- 申し込み：QBIICサイトにて9月13日まで
<https://qbic-gnss.org/post/5003>
- 議事次第：QBIC総括報告、各WG活動報告、QBIC活動後など

QBIC後の継続活動など対応



QBIC活動が修了し、「みちびき」サービス利用普及に関連した、継続すべき活動の対応を検討する。

LN	項目	検討状況	対応方針
1	社会実装等の情報共有の機会	みちびきの国内外の社会実装状況をふくみ、社会実装開拓のために有用な情報を共有する機会を継続的に実施する。	JSSの活動範囲の中で継続する。
2	利用ユーザーの意見要望の収集とその展開	みちびき利用ユーザーの声の吸い上げと、衛星サービス提供側への反映の循環のため、市場やサービスに関する情報共有のための講演会を開催し、受講者へのアンケートを実施するとともに、現QBIC会員、関係者を対象とした定点観測的な恒例のアンケート収集による情報収集と利用を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・みちびきサービス、社会実装講演会 ・アンケート ・情報発信 ・測位標準化WG ・他団体との連携も含めた諸官庁への提案・受託
3	標準化WG活動	国際的な衛星測位標準化に関わるJSSの受託案件の一部として、現標準化WGの活動を継続する。当WGの活動の横展開を目指し、既存WG(研究会)が構築を進めている「宇宙利用ユーザープラットフォーム(次ページ参照)」の中の活動に「測位標準化WG」と改名して紐込み、長期推進を図る。	

※ JSSとしては、業界をまとめる活動を非営利活動として実施することは困難なため、諸官庁からの受託による推進を目的として提案を実施中。

QBIC第32回企画運営委員会 (9月6日) 資料より

事務連絡：終わりに

- 2013年のQBIC設立以来、10年もの長きにわたり、海外展開WGを応援いただきありがとうございました。
- QZSSの国際展開が困難である環境の中でも継続し、会員の方との交流や、GNSS動向などを得ることができ私自身も勉強させてもらいました。
- いよいよ2024年からみちびき海外サービスが始まります。皆様の海外ビジネス展開の成功を祈念して、WGを終了させていただきます。有難うございました。

海外展開WGリーダー 磯 尚樹